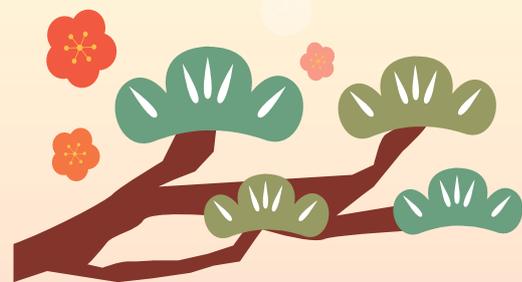


むつ社協だより No.82

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。



- P 2 新年の挨拶
近川保育園新入園児募集
- P 3 事業の開催案内
- P 3~5 事業の実施報告
- P 5 事業の利用案内
- P 6 むつ市社会福祉協議会会員へのご加入にご協力をお願いいたします。
台風19号災害支援に伴う職員派遣報告



近川保育園 「遠足」



新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本会の各種事業の推進につきまして、格別なるご理解とご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

新しい年におきましても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、役員員一丸となり地域福祉の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人むつ市社会福祉協議会

会長 遠藤雪夫

近川保育園新入園児募集

子育て世代の就労支援等を目的に認可保育園を設置開設しており、令和2年度の新入園児を募集しております。

当園の特色として、「和太鼓を通じ「集中力」、「持続力」、「協調性」を身につけるとともに、季節に応じた諸行事及び延長保育を実施しております。また、送迎バスを完備し、ご希望により園児の送迎を行っておりますのでご家庭の実情に合わせてご利用ください。

◎入園のご案内

●入園要件

- お父さん、お母さんが仕事をしている場合
- 疾病、心身に障害のある場合
- 出産、求職活動中の場合（ご相談ください）
- 受入年齢 生後4か月〜小学校就学未満
- 入園定員 50名
- 開園時間 午前7時〜午後6時30分（延長保育含む）
- 入園時期 4月1日（年度の途中でも入園できます）

◎主な保育サービス

- 延長保育 午後6時〜午後6時30分
- 乳児保育 生後4か月〜
- 障害児保育 集団生活が可能な園児
- 食物アレルギー給食 食物アレルギーをお持ちのお子さんには、安心して美味しい給食を提供するため、医師の診断書を提供いただき、アレルギー食品を完全除去し、代替え食品にて対応いたします。
- バス送迎 希望により、保育園までの送迎を実施しております。

◎保育園の特色

●保育理念

自然豊かな環境の中で、子ども一人ひとりを大切に、家族、地域に信頼され愛される保育園を目指しています。

●保育方針

健康で明るい子
しつけのよい子
物を大切にする子
思いやりのある子

●和太鼓

日本総合音楽研究所の講師による指導を行っています。和太鼓を通じ、集中力、持続力、協調性を身に付けていきます。

●施設見学、お問合せ

近川保育園
☎2612117



事業の開催案内

◎福祉作文コンクール表彰式

各種ボランティア活動を始めとする「子ども頃から福祉にふれられる環境づくり」を推進しています。

これらの活動に伴う、成長期の福祉体験を通して得た思いをテーマにむつ下北地区の小学生を対象に、福祉作文コンクールを毎年実施しています。

今年度も、むつ下北地域社会福祉協議会と共催し、広くむつ下北管内から作品を募集し、入賞者を決定いたします。入賞者への表彰式は左記により実施し、当日は入賞作品の朗読を行う予定といたしますので、皆様のご来場をお待ちしています。

- 日時 令和2年2月22日(土) 午後2～3時
- 会場 むつ市中央公民館
- 対象 入賞児童及び生徒、保護者、教職員、むつ市民、下北郡町村民
- 内容 表彰状授与、入賞者作文朗読他
- 参加費 無料

事業の実施報告

◎ふれあいバスの旅

8月2日(金)、6日(火)、65才以上のひとり暮らしの方を対象に「ふれあいバスの旅」を開催しました。

今年度は、「遊覧船で行く 秘境 仏ヶ浦」

と題し、佐井村へ行き、遊覧船で仏ヶ浦観光をした後、お食事処レストいそ川で昼食をいただきます。当日は、天候にも恵まれ皆さん和気あいあいと楽しまれました。



◎いきいき交流会

脇野沢地区では、65歳以上の介護保険サービスを利用していない方を対象に、親睦と孤独の解消・介護予防を目的に「いきいき交流会」を開催しています。

8月には夏休みを利用して、脇野沢地域子ど



も教室「Chaふらつと」との交流を行いました。当日は、高齢者から「どっぶゲーム」、Chaふらつとからは手作りの「神経衰弱カード」を使って一緒に頭の体操を行い、楽しいひと時を過ごしました。

◎ほほえみのつどい

10月6日(日)、早掛レイクサイドビルキャンプ場において、「第39回ほほえみのつどい」を開催しました。

当日は、参加者・ボランティア等、約160名が集まり、むつ下北地区レクリエーション協会指導によるレクリエーションと昼食のバーベキューで交流を深めました。

また、参加者全員に青森ヤクルト様からヤクルトをいただきました。

帰り際には、「今年も楽しかった」「また、来年会いましょう」などといった声が聞かれました。



◎ひきこもりについて学ぶ講演会

10月19日(土) むつ市中央公民館において、私たちが引きこもり状態の方々やその家族に理解を示し、温かいまなざしで寄り添い、応援していくことができるよう学ぶことを目的に「講演会」を開催いたしました。

講師にジャーナリストの池上正樹氏をお招きし、「ひきこもりの理解と支援」と題しご講演をいただきました。

当日は、市内の福祉関係団体や相談支援機

関、民生委員児童委員の方々など125名が参加し、引きこもりに至る経緯やその対応に係る事例をもとに、具体的な支援方法等について共に考えることができました。

本会では、今や「地域福祉の問題」と言われるひきこもりについて、関係機関をはじめ市民の皆様との協同による取り組みを進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



◎紅葉を楽しむ会

10月21日(月)、65才以上の方を対象に自然に親しみ心身の健康増進を図ることを目的に、八甲田の紅葉名所をめぐりました。

蔦沼・酸ヶ湯・城ヶ倉大橋・萱野茶屋高原とめぐり、見ごろの紅葉を楽しんでいただきました。

参加者からは「紅葉がきれいだった」「来年はどここの紅葉かな？」などの声が聞かれました。



◎ひきこもりサポーター養成講座

ひきこもりの状態にある本人や家族等に対するボランティア支援に関心のある方等を対象に、ひきこもりに関する基本的な知識について学び、ご自身にできる支援について考えていただくことを目的とした「令和元年度ひきこもりサポーター養成講座」を11月16日(土)・17日(日)の両日、むつ市中央公民館において開催しました。今回は、青森県立保健大学廣森直子氏、ハートランドさくら三浦和之氏の両名を講師に迎え「ひきこもりの理解と支援」についての講義をいただき、受講者からは「ひきこもりに対してのイメージが変わった」「引き続き開催してほしい」との感想が聞かれ、2日間全てのカリキュラムを終えた18名に修了証を交付しました。



◎社会福祉大会

11月19日(火)にプラザホテルむつにおいて、「第59回むつ市社会福祉大会」を開催しました。当日は、福祉関係者など約270名が出席し、式典では永年にわたり地域福祉向上にご尽力された方々への表彰及び感謝状の贈呈を行いました。

記念講演では、むつ市地区川内分区赤十字奉仕団委員長石倉司氏から「赤十字に寄せる皇室の御心」と題し、ご講演をいただきました。

また、会場ホールでは福祉施設による自主作品の販売が行われ、来場者の皆様で賑わいを見せていました。

◎ふれあい福祉展

福祉施設の紹介や、入所者の作品を展示・販売することにより、広く一般市民に対し施設等の活動に対する理解を深めることを目的に、11月23日(土)・24日(日)に下北文化会館において「ふれあい福祉展」を開催しました。

今年度は29団体の参加、約600名の来場者がありました。

両日において、先着100名様には来場記念品プレゼントや、ふれあい食堂の営業もあり賑わいをみせていました。



◎敬老会

今年度77歳以上とされる市内8、175名の方々を対象に、地域の民生委員の皆様からむつ市敬老記念タオルの贈呈と敬老会のご案内をしていただきました。

各地区の敬老会では、顕彰者表彰に臨まれたあと、小西礼子様のご挨拶ショー、市長と市職員による還付金サギ被害防止の寸劇、地元の保育園・団体様の余興、郷土料理、記念写真撮影など、盛りだくさんの内容で楽しめました。

出席記念品の紅白パンは、障がい者施設の皆様が、早朝から丁寧に焼いてくださいました。

対象の皆様おめでとうございます。

川内会場



大湊会場



田名部会場



大畑会場



脇野沢会場

事業の利用案内

◎むつ市ひきこもり相談窓口

ひきこもりに悩んでいるご本人やご家族の相談に応じるため「ひきこもり相談窓口」を開設しています。

ひきこもりの状態が続くとご本人だけでなくご家族も心配や不安が募ります。

ひきこもりは、その要因として様々な背景が絡み合っていることがあり、それぞれの状態に応じた対応を考え、工夫していくことが必要です。

「もう遅い」などとあきらめたり、家族だけで抱え込まず、まずはご相談ください。

●相談日時 月曜日～金曜日（祝日を除く）

午前9時～午後5時

●問合せ先 ひきこもり相談窓口

☎ 33-3023

◎除雪ボランティア

むつ市ボランティア・市民活動センターでは、65歳以上の高齢者世帯や障害者世帯等で、自らで除雪が困難で経済的理由により他に支援を求めることができない世帯の「除雪ボランティア」を実施しています。

除雪の依頼を受けますと、センター職員が状況確認に伺い必要に応じてボランティアと日程調整を行い除雪活動を実施します。

●期 間 3月31日まで

●時 間 午前9時～午後4時

●除雪箇所 出入口、ストーブの排気口確保、屋根の雪下ろしは行いません。

●問合せ先 むつ市ボランティア・市民活動センター

☎ 33-3023

◎教育支援資金貸付のお知らせ

低所得世帯を対象として、就学に係る費用を貸付する「生活福祉資金(教育支援資金)」貸付事業を実施しています。お子さんの就学に当たり、学費及び生活費の捻出にお悩みの際は、左記へご相談ください。

●貸付対象 低所得世帯(住民税非課税世帯程度)

●貸付条件

(1) 金融機関及びその他施策制度から融資を受けれない世帯

(2) 日本学生支援機構等の奨学金を活用しても就学に要する経費を賄えない場合

●貸付限度額

(1) 教育支援費

低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に就学するために必要な経費

高校 月額 3万5千円以内

高専 月額 6万円以内

短大 月額 6万円以内

大学 月額 6万5千円以内

(2) 就学支度費

低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費

50万円以内

●貸付利率 無利子

●申込者

子ども等を借入申込者とし、保護者を連帯借入申込者とします。原則、連帯保証人は不要です。

●貸付審査

青森県社会福祉協議会の審査となります。この結果、貸付を受けられない場合があります。

●申込・問合せ先 本 所 33-3023

川内支所 42-2002

大畑支所 34-3357

脇野沢支所 44-3550

むつ市社会福祉協議会会員へのご加入にご協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域の皆様に支えられた民間の福祉団体で、会員会費は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動をご理解いただき、ひとりでも多くの皆様の会員加入についてご協力をお願いいたします。

◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年会費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

◇ 入会方法 ◇

会員にご加入いただける場合は、本会へご連絡をいただけますと職員が伺い、入会申込書に必要事項をご記入いただき、会費納入方法等についてご案内させていただきます。

○ 問合せ・連絡先 総務課 ☎33-3023

福祉への心温かい、ご寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。

株式会社佐藤長 さとちょう中央店 様 …… 19,026円
 ほたる歌謡クラブ 様 …… 30,000円
 株式会社佐藤長 さとちょう新町店 様 …… 10,023円
 大 山 雄 七 様 …… 10,000円
 花一輪会 様 …… 33,001円
 むつ商工会議所女性会 様 …… 20,000円
 立正佼成会むつ教会 様 …… 50,000円
 村 川 寿 司 様 …… 3,356円
 ライオンズクラブVSロータリークラブ
 合同ゴルフチャリティコンペ 様 …… 40,000円
 工 藤 和歌子 様 …… 20,000円
 匿 名 様 …… 50,000円
 むつ市老人クラブ連合会 様 …… 50,000円
 石 倉 司 様 …… 20,000円
 古希野球クラブむつトマホークス 様 …… 10,905円
 認定こども園こすもす幼稚園 様 …… 7,253円
 むつライオンズクラブ 様 …… 30,000円
 大畑ロータリークラブ 様 …… 24,751円
 海上自衛隊 大湊海曹会 様 …… 34,400円

株式会社トーリン 様 …… 50,000円
 匿 名 様 …… 30,000円
 むつフレンドリークラブ 様 …… 30,000円
 匿名（脇野沢） 様 …… 20,000円

主な物品寄付

匿 名 …… ポータブルトイレ 1台
 一般社団法人公済会 様 …… タオル 800本
 故 光 谷 喜太郎 様 …… 介護用品 多数
 佐々木 重 人 様 …… お茶 1箱
 匿 名 様 …… 車イス 1台
 友 江 孝 幸 様 …… リハビリパンツ 2袋
 青森県東部地区郵便局長会下北南部会 様
 …… タオル 770本
 匿 名 様 …… 介護用品 多数

令和元年7月1日から令和元年12月31日まで

台風19号災害支援に伴う職員派遣報告

令和元年10月25日～26日にかけて、関東・東北に災害をもたらした台風19号の発生により、被災した地域支援に次のとおり職員を派遣いたしました。

- ① 派遣先 福島県いわき市社会福祉協議会
 派遣内容 災害ボランティアセンターにおける被災世帯のニーズ調査・受付用務の支援。ボランティアの受付及び世帯のニーズとのマッチング支援。
 派遣期間 11月23日～12月2日、12月12日～12月27日
 派遣人数 延べ 6名
- ② 派遣先 福島県郡山市社会福祉協議会
 派遣内容 生活福祉資金特例貸付に係る、受付・送金事務の支援。
 派遣期間 11月23日～11月27日
 派遣人数 1名